

広報いいで

12

13, December
2012
Vol.1029

花を生ける人がいて、 花がある

ボランティアで生け花を飾る長谷川清さん(黒沢)
その活動は、町内4施設、置賜全市町に及ぶ。

- 03 ◎雇用創出へ挑戦！
- 08 まちかどNEWS
いいで秋の収穫祭／全国秋の火災予防運動・高齢者世帯防火活動／小型ロータリー除雪機が黒沢地区に配備ほか
- 10 まちかどスナップショット
- 11 やまがた食育・地産地消推進活動表彰ほか
- 12 直伝おふくろの味
- 13 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 14 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 15 健康ikiikiプラス
- 16 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 18 町の人事行政の運営などの状況
- 20 町宝いいで ～中若宮八幡神社社叢～

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。
大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。
どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



今月の

表紙

花がつくりだす 和みの雰囲気



中部地区公民館に飾られた生け花。雪囲いの時切り落としの庭木の松を使っている。

12月初旬、中部地区公民館に花を生ける長谷川清さん(黒沢)がいました。長谷川さんは、花器や花などを自前で揃えボランティアで花を飾っています。町内では、あ～す、羽前橋駅、萩生駅にも飾っています。20年ほど前に萩生駅に飾り始め、今ではフラワー長井線や米坂線の駅、公民館など置賜全市町で15カ所に及びます。「花を見て和んでいただければ幸せです」と長谷川さんは話します。



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

雇用創出へ

挑戦



人口減少が叫ばれて久しくなります。町は人口減少に歯止めをかけようと、定住・転入を奨励し、子育てや福祉の充実に努力してきました。今年、新たな対策として厚生労働省の委託事業を活用した雇用の創出に取り組み始めました。

多くの人は、働いて収入を得、生計を立てています。雇用の場の確保が、定住に大きな効果があることは間違いありません。

町の就労状況と雇用創出への取り組みについてお知らせします。



まちの就労の 今を知る

5年間で680人の減少

国勢調査によると、町の人口は平成17年8623人、平成22年7943人。5年間で680人の減（次ページ）です。飯豊村と中津川村が合併した昭和33年は、16213人を数えましたので、54年が経過し、人口は半数に減少しています。また、一世帯あたりの人員は、3・56人で、平成17年の3・75人と比べ0・19人の減少となりました。

人口増減には2つの要因があり、ひとつは出生と死亡による自然増減、もうひとつは仕事や結婚、進学などに伴う転出と転入による社会増減です。

第4次総合計画地区別計画策定の際には、多くの地区から人口・戸数の減少、少子化、町外への人口流出などが現況の課題として語られました。

人口減少は町が抱える大きな課題です。集落機能の衰退をもたらし、これまでの社会システムの維持すら難しくなります。集落内で生まれる多くの不便が、より人口の流出を加速させる危険をはらんでいます。町としては、町外から転入者を増やすための住宅団地整備、子育て家庭の負担軽減など子育てのしやすい環境整備、地域医療の確保や地域福祉の充実などをとおして、定住・転入・結婚・出産などを奨励し支援を行ってきました。

今年の新成人に行ったアンケート調査の中で、「町に住まない」または「たぶん住まない」との回答で、理由の記

載があった8意見のうち2つが仕事に関するものでした。具体的には、「仕事がない」、「働きたい企業が県外」。暮らしていくためには、働いて生活費を稼ぐ必要があります。それは、都市部でも、自然の恵み豊かな農山村であつても同様です。

第1次産業からの移行

山形労働局が、毎年度、山形県知事の意見を聞いて定めている「やまがた雇用施策実施方針」の今年度版では、県内の雇用失業情勢の現状について、持ち直しの動きがあるものの力強さに欠けていると分析しています。事実、有効求人倍率をみても回復の傾向が読み取られます（次ページ）。

町民の就業人口を産業別にみると、第1次産業18・37%、第2次産業38・61%、第3次産業43・02%。基幹産業が農業と言われる本町の就労実態は、農業以外への就労が主になっています。

もう少し細かく分類（産業大分類別）してみると、製造業が27・40%、農業が17・73%。卸売・小売業が11・54%、建設業が11・12%です。上位4つのうち農業以外を合計すると50・13%。実に2人に1人となります。全国的な流れと同様に、第2次・第3次産業への就業の転換が進みました。町も第2次産業の雇用の場を生み出すため、昭和40年代に東山工業団地の整備に着手しました。現在では置賜地域のものづくりの一拠点となつているとともに、当初

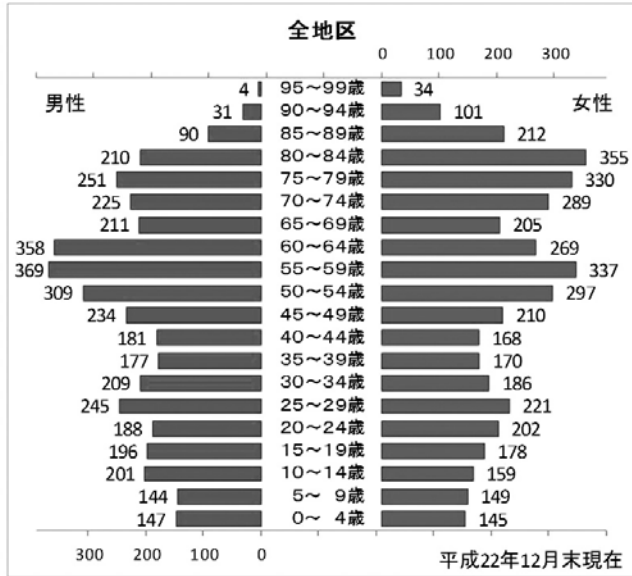
の狙い通り町内の雇用の場となつていきます。平成22年10月の工業団地内の従業員数は500人を超え、町内在住者は100人を超えています。

新たな「仕事」

現代経済は、世界とのつながりの中で動いています。ギリシャ危機に端を発した世界的な金融不安は、急激な円高を招き、輸出国である日本の製造業に大きな打撃を与えました。大手半導体や家電メーカーは、世界シェア衰退による大規模な国内工場の統廃合を行つていきます。残念ながら、企業の生産体制の見直しは町にも及び、今年7月、従業員100名を超す工場が、他県の工場に集約されるといふ衝撃的な発表がありました。地元有力工場の閉鎖が、雇用や地域経済に大きな影響を与えることは必至。失業は誰にでも訪れる時代に入っています。

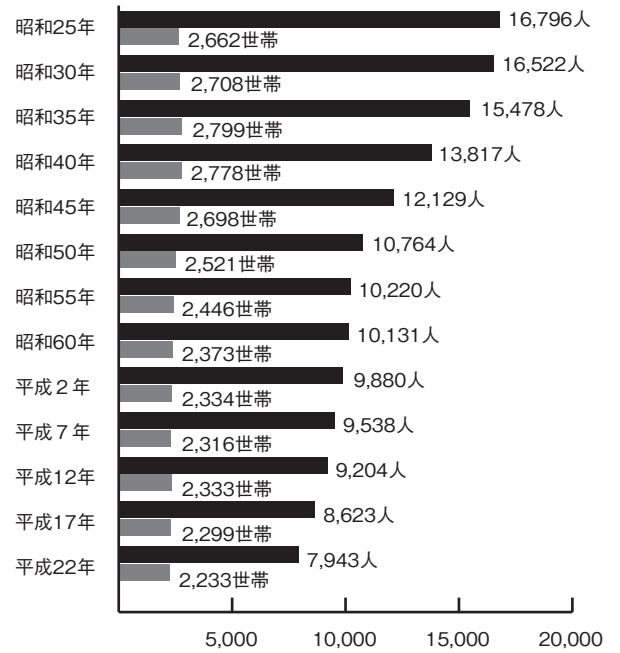
町長は昨今の厳しい経済情勢を踏まえ「飯豊のような過疎の村には課題が山積している。『仕事がない』という現実には当たり前のことのように、とてもおかしなことである。課題解決こそが仕事である」との考えから、このギャップを埋めるため、厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」に応募し、5月に採択されました。町はこの事業を受け、地域の実情に合った雇用創出に向けさまざまな事業展開を始めました。

○世代別人口ピラミッド

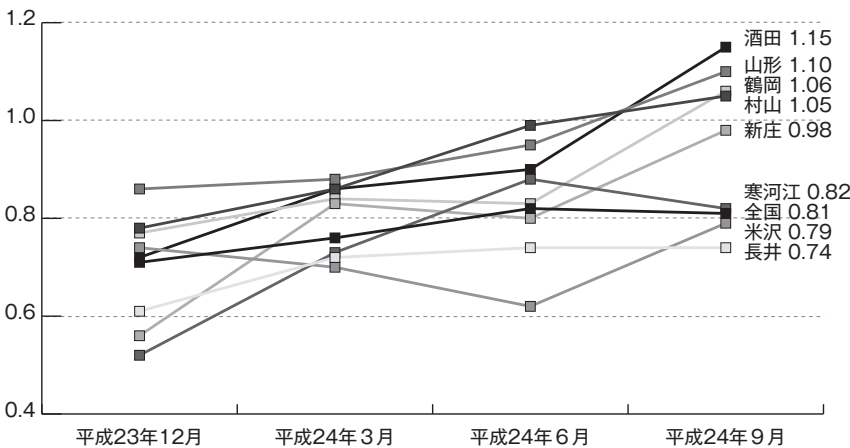


日本大学生物資源科学部建築・地域共生デザイン研究室作成資料より

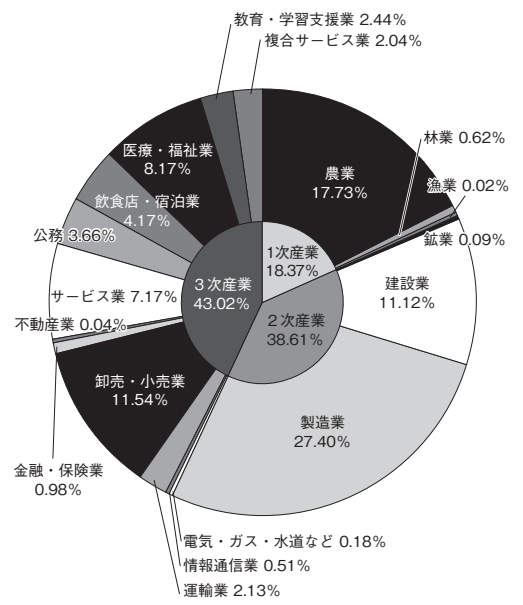
○町の人口と世帯数の推移



○県内の安定所別有効求人倍率



○産業別人口



平成17年 国勢調査より

○長井ハローワーク管内の正社員の有効求人倍率

	平成23年			平成24年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
長井	0.33	0.33	0.34	0.35	0.38	0.37	0.41	0.40	0.47	0.51	0.49	0.51

○東山工業団地の住所地別従業員数

飯豊	113
長井	236
白鷹	33
小国	4
南陽	45
川西	42
米沢	15
高島	11

平成22年度産業振興課調査

○西置賜地域の基礎数値

	長井市	小国町	白鷹町	飯豊町
人口(人)	29,476	8,863	15,313	7,943
工業事業所数	※1 128	17	66	22
工業従業者数(人)	※1 3,941	1,351	1,669	898
製造品出荷額等(万円)	※1 4,467,909	2,282,009	1,788,813	1,548,772
商店数(店)	※2 465	129	193	89
商業従業者数(人)	※2 2,601	505	754	367
年間商品販売額(万円)	※2 5,469,477	798,037	1,212,812	529,123

※1 県統計企画課資料(平成21年12月31日現在、従業者4人以上の事業所)

※2 県統計企画課資料(平成19年6月1日現在、卸売・小売業の合計)

雇用創出106人を目指す

今年7月から平成26年度末までに
106人の雇用創出を目標とする事業が行われています。



地域雇用創出の新たな潮流「地域発案」

地域発の「雇用創出」

雇用の場・機会が少ないといわれる農山漁村。それぞれに歴史、風土、気質があり、地勢や雇用・産業構造に違いがあります。雇用創出には、これらの違いを踏まえた個別の方策を検討し、地域実情にあった策を講じることが重要で効果的です。

国（厚生労働省）は、全国一律的な支援に加え、平成19年から地域雇用創出推進事業（現在「実践型地域雇用創出事業」）を実施し、現場に近い立場の市町村や経済団体などが一致協力し、創意工夫や発想を活かした雇用を創出する取り組みへの支援をしています。

町では、下記の6者からなる飯豊町地域雇用創出推進協議会を2月に組織しました。同協議会で雇用創出を目指した事業構想を策定し、今年5月に事業採択を受け、7月から事業を行っています。実施期間は平成27年3月末まで、事業タイトルは「農山村社会の再生が生み出す雇用創出」、サブタイトルに「自然と共生した暮らしの豊かさ実現から新しい雇用創出と人材育成」を設定。

構想にまとめられた事業の対象者は、求職者のみならず企業を対象とした事業メニューがあります。企業対象事業では、生産コスト削減、技術移転、新商品開発や営業力向上などにより、収益改善と業務拡大を図

り雇用機会の創出を目指します。求職者向け事業では、スキルアップや起業化研修などの人材育成を図り早期就労や創業につなげます。これらの事業実施により106人の雇用創出を目指しています。

○委託事業概要

実施主体

飯豊町地域雇用創出推進協議会

実施期間

平成24年7月～27年3月31日

事業実施により創出される雇用

雇用創出106人

（常用81人、常用外23人、創業2人）

委託額

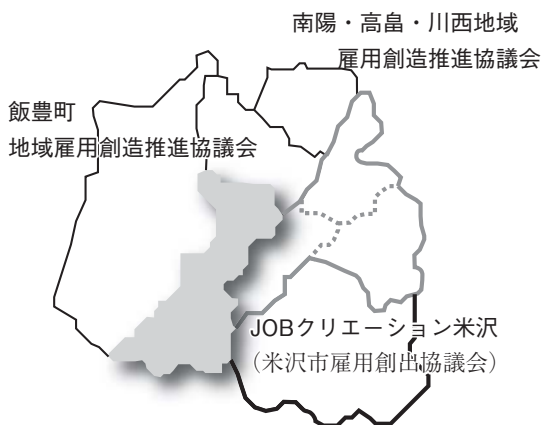
135,823千円（3年度合計の予定額）

○町地域雇用創出推進協議会構成員

所属・職名	氏名(敬称略)
山形県置賜総合支庁長	菅原 好見
町商工会長	鈴木 忠好
J A山形おきたま農協 飯豊地区代表支店長	手塚 房夫
西置賜ふるさと森林組合 代表理事組合長	井上 南
町観光協会長	高橋 眞
飯豊町長	後藤 幸平

●置賜地域の事業採択状況と推進組織名

※前身事業の地域雇用創出推進事業含む



●実践型地域雇用創出事業とは…

厚生労働省が行う委託事業。雇用機会が不足している地域の自発的な雇用創出の取組を支援するため、地域の協議会が提案する雇用対策に係る事業構想をコンテスト方式により選抜し、事業を委託する。委託する事業は、地域協議会が提案した事業。

選抜基準

- ・雇用創出効果が高いと認められるもの
- ・波及的に地域の雇用機会を増大させる効果が見込まれる
地域の産業及び経済の活性化等に資すると認められるもの

実施期間

同一地域における事業期間は3年度以内

事業規模

1地区、各年度2億円（複数市町村の実施は2.5億円）上限

○今後1カ月の事業一覧

月	日	メニュー	タイトル	対象
12	19 (水)	●雇用拡大メニュー こだわり・ものづくり産業支援	ブランド化セミナー、 こだわりのものづくり	個人 企業
		●雇用拡大メニュー ものづくり産業支援セミナー	経営改善セミナー	企業
12	20 (木)	●人材育成メニュー こだわりの産業づくり研修	販売と営業力研修	個人
	25 (火)	●人材育成メニュー 農商工連携人材育成研修	営業人材教育研修	個人
	26 (水)	●人材育成メニュー 交流とにぎわい再現研修	体験型産業ガイド研修	個人
1	8 (火)	●人材育成メニュー こだわりの産業づくり研修	木質バイオマス技術者 研修	個人
	10 (木)		木質バイオマス技術者 研修	個人
1	11 (金)	●人材育成メニュー 交流とにぎわい再現研修	都市と農村の交流推進 研修	個人
	15 (火)	●雇用拡大メニュー こだわり・ものづくり産業支援	ブランド化セミナー、 こだわりのものづくり	個人 企業
	16 (水)		ブランド化セミナー、 こだわりのものづくり	個人 企業
	17 (木)	●人材育成メニュー こだわりの産業づくり研修	農業技術者研修	個人
1	18 (金)		農業技術者研修	個人

※上記の他に毎月第2、第4火曜日に就職相談窓口を「あ～す」で開催しています。

○事業内容

①雇用拡大メニュー

事業主を対象とした各種セミナー
経営セミナー、こだわり・ものづくり産業支援セミナー、農商工連携セミナー、着地体験型交流実践セミナー、開発商品発表セミナーなど

②人材育成メニュー

求職者を対象とした研修会
支えあいのまちづくり研修、こだわりの産業づくり研修、農商工連携人材育成研修、交流とにぎわい再現研修など

③就職促進メニュー

情報提供、就職相談窓口
ホームページなど開設、事業者と求職者向けの相談窓口開設

④雇用創出実践メニュー

商品開発、技術開発・マッチング事業
飯豊ブランド商品開発、マーケティング・ニーズ調査、商品の地域内循環と販路拡大への取り組み、各企業の技術力や連帯の可能性調査、企業商談会での情報発信

飯豊町地域雇用創造推進協議会 事務局

協議会には職員が8名います。事業推進員3名（上記事業内容①②③担当）と実践支援員5名（上記事業内容③④担当）に分かれて事業実施中です。事務局は椿地内にあります。



〒999-0604
飯豊町大字椿3594-10
TEL87-0972 FAX87-0973
HP <http://iide-koyou.org/>



上段左から
渡部 優さん、小松通人さん、鈴木 結さん、關川豊章さん
下段左から
我妻清治さん、草刈幸一さん、中村めぐみさん、吉田治彦さん

雇用創造へ挑戦

飯豊町を含め、西置賜の雇用環境は県内でも最も厳しい状況にあります。そんな中で我々8人に課せられた使命は容易ではないと思います。
しかし、わが町の人間力、地域力をより高めるために強い志を持って事業に取り組んでまいります。

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線225



いいで秋の収穫祭

秋の恵みが盛りだくさん

11月3日、あ～すで「いいで秋の収穫祭」が行われました。越冬野菜などの地場産農産物の即売、アイデア料理コンテスト、やまがた舞妓の踊りやお楽しみ抽選会など多様な企画が行われました。農産物の販売テントでは、菊や大根などが飛ぶように売れ、お昼前には店先に商品が無くなるほどの盛況ぶり。祭りの締めくくりに、つきたてのもちが振る舞われ、会場は秋の恵みを買求めるお客様やイベント参加者でにぎわいました。



小型ロータリー除雪機が黒沢地区に配備

雪から地域を守る



11月15日、黒沢地区に乗用の小型ロータリー除雪機が配備されました。高齢者世帯や自力除雪が困難な世帯の除雪を行うために、黒沢区協議会を母体として組織された黒沢除雪組合(古山繁巳組合長)が町に貸与を要望し、冬を前に配備されました。町道などを除雪する大型の除雪機と共に除雪作業時の安全祈願を受けた後、引き渡されました。古山組合長は「さらに雪に強い地区になりました」と話してくださいました。

全国秋の火災予防運動・高齢者世帯防火活動

心あったか秋の火災予防



11月13日から14日にかけて、民生委員児童委員、女性消防団員、消防署飯豊分署職員の3者連携による高齢者世帯への火の元点検が行われました。2日間で中津川地区の20世帯を訪問し、ガスコンロ周りの安全やストーブの使い方などを確認し、火災予防をアドバイス。訪問先の高齢者から「火災予防の意識が高まりました。風邪をひかないでと言葉をかけてもらい、温かい気持ちになりました」と感想が聞かれました。



東洋のアルカディア郷どぶろく新酒発表会

飯豊の冬の楽しみを味わう

11月16日、フォレストいいでで「東洋のアルカディア郷どぶろく新酒発表会」が行われました。これは、町がどぶろく特区の認定を受けた年から毎年開催しているイベントで、今年で9回目。町内外から約70名が参加し、いいで旅館と緑のふるさと公社が醸造したどぶろくを味わいました。参加者は、両社から今年のどぶろくの特徴や仕込の工夫などの紹介を受けた後、飲み比べをしながら新酒を堪能。どぶろく目当ての宿泊客の姿も見受けられました。

モンテディオ山形ふれあいフィールド

ボール1個でひろがる楽しさ



11月21日、中部地区公民館で「モンテディオ山形ふれあいフィールド」が行われ、手ノ子幼稚園児33名がボールとのふれあいを楽しみました。同事業は、J2のサッカーチームモンテディオ山形による社会貢献活動として行われ、コーチ3名の指導のもと、園児たちは、ボールを手で弾ませてキャッチしたり、転がるボールを足で止めたりと歓声を上げながらボール遊びの楽しさを体感していました。

めざみの里音楽祭

心を一つに、音楽を楽しむ



11月17日、あ〜すで、町内の全小中学校、さゆり保育園、手ノ子幼稚園と町内の音楽団体の総勢11団体が参加してめざみの里音楽祭が行われました。合唱や合奏のほか、花笠音頭、鼓笛隊やよさこいソーランなど、各団体とも個性豊かにステージ上で精いっぱい音楽を披露。会場内は立ち見客が出るほどの盛況ぶりでした。フィナーレには、会場の全員で飯豊町民の歌『いつも心に』を合唱しました。



年長児が年小・年中児に昼食をごちそう

心を込めて「いただきます」

11月7日、添川児童センターで、年長児5名による昼食づくりが行われました。町食生活改善推進員連絡協議会(中村文子会長)が食育活動の一環として今年初めて実施。野菜たっぷりハンバーグや味噌汁などを料理しました。園児たちは全員分の食材の多さに「うわあ〜」とびっくりした声を上げながらも、興味津々に野菜を包丁で切ったり、ひき肉と混ぜ合わせたり、調理のすべてに一生懸命。出来上がった料理は、年小・中児と一緒においしくいただきました。

まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します



11/4

宇津峠部会による第9回宇津峠歩こう会 (手ノ子地内)



11/2

植物の力活用セミナー (あ～す)



11/10

J A山形おきたま青年大会 (あ～す)



11/8

マリンバコンサート (あ～す)



11/4

いいでウォークラリー体験と中津川さんぽ (中津川地区など)



11/19

子どもが自分で作る「弁当の日」講演会 (物産館)



11/17

置賜農業高等学校飯豊分校閉校記念碑除幕式 (分校校庭)



11/11

第44回バレーボール大会 (スポーツセンター)



11/25

第48回卓球大会 (スポーツセンター)



11/23

松原地区遊休農地利用協議会によるソバの収穫感謝祭 (松原公民館)



11/23

渡辺真知子と上柴はじめさんによる音楽はいいでSHOW (あ～す)

やまがた食育・地産地消推進活動表彰



10月12日、山形県と食育県民運動・地産地消推進本部主催による食育県民運動推進大会が開催されました。大会では、県内の食と農に関する多様な活動に取り組む9団体に、やまがた食育・地産地消推進活動表彰状が贈られました。

本町からは、町食生活改善推進員連絡協議会(中村文子会長、手ノ子)と中西田んぼチーム(須藤良一代表、中)が優秀賞を受賞しました。中西田んぼチームは、学校給食にキャベツを納入しており、今年度は第一小学校3年生を対象に生産を指導。育てたキャベツは町内の全小中学校、幼稚園と児童センターの給食に提供されました。

社会福祉功労者への各種表彰



10月24日、山形県や社会福祉法人山形県社会福祉協議会などの主催による第62回山形県・県民福祉大会が、川西町フレンドリープラザで開催されました。大会では、社会福祉功労者に対する表彰状や感謝状の贈呈式が行われました。

本町からは、町婦人会(近野紀代子会長、萩生)、元木ヒデ子さん(手ノ子)、横澤晃さん(黒沢)と佐原真由美さん(添川)が県知事表彰を、山形県立置賜農業高等学校飯豊分校が県知事感謝状を、町食生活改善推進員連絡協議会(中村文子会長、手ノ子)と町立中津川小中学校(齋藤芳昭校長)が、大会会長表彰を受賞しました。

公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団表彰



11月17日、県スポーツ少年団主催による山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会が開催されました。研修会に先立ち、公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団より、スポーツ少年団活動に功績のあった4個人・1団体に表彰状が贈られました。本町からは島貫潤一郎さん(萩生)が表彰を受けました。

島貫さんは、わかくさバレーボールスポーツ少年団の指導者として団員の育成にあたられ、スポーツを通じた児童の健全育成を続けてられました。平成23年度から町スポーツ少年団の本部長として本部運営にも尽力されています。

直伝おふくろの味



柔らかい食感とほんのりした甘味が魅力 カボチャ入り味噌揚げ

【材料】(約40個分)

◇もち粉	500
◇白玉粉	50
◇カボチャ(蒸したものを)	300
◇砂糖	180
◇味噌	150
◇姫ひじき	適宜
◇くるみ	適宜
◇白ゴマ	適宜
◇水	170cc

【作り方】

- ①もち粉、白玉粉、カボチャ、砂糖、味噌を少しずつ水を加えながら混ぜ合わせて練る。練りあがったら、冷蔵庫で一晩寝かせる。
- ②揚げる時に姫ひじき、くるみ、白ゴマを好みの量入れて練る。一口サイズに生地を丸め、中心まで熱が伝わるように中心を指で軽くへこませる。
- ③②を160度の油で、5分程度揚げると出来上がり。

※②を冷凍保存しておく、食べたいときにすぐに調理できて便利です。その際は、生地同士がくっつかないようにバットなどに並べて凍らせてください。凍った後は袋などにまとめてコンパクトに収納。



中地区
食生活改善推進員
坂爪チヨさん

可愛い一口サイズと後を引く甘さで孫にも大人気

以前は、多くの家庭で食べられていた料理だと思います。農繁期には、作り置きした味噌揚げを作業の合間に食べていました。味噌の量を控えればおやつに、増やせば食事のおかずになります。

料理のポイントは2つ。一つは、生地を一晩冷蔵庫で寝かせることです。寝かせることで、油で揚げてもべたつかず、モチリとした食感になるようです。もう一つは、たっぷりの油で揚げ、生地がくっつき合わないよう、一度に沢山揚げないことです。

身近にある材料で作れる料理ですし、混ぜる・練る・丸めるなど子供たちがよろこぶ調理作業があります。お孫さんやお子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。



こどもみらい館の予定表 (12月・1月の日程)

- 12月14日(金) 10:30～ 栄養士さんの指導(要予約)
 20日(木) 10:30～ クリスマス会(要予約)
 29日(土)～1月3日(日) 休館
 1月9日(水) 10:30～ おはなし広場
 11日(金) 10:30～ だんごさげ
 16日(水) 10:30～ あそびの広場
 18日(金) 10:30～ 親子エクササイズ教室

クリスマス会 一足早いクリスマスを楽しみましょう。サンタさんもやって来ます。
12月20日(土) 10:30～
こどもみらい館 要予約

episode

子育て応援
 談
 kosodate
 ouendan

あこがれは向上心の始まり

「いつか自分もヒーローに」

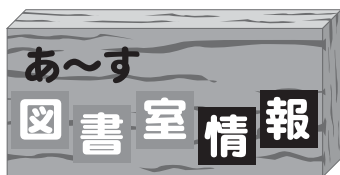
12月に入り、外で遊ぶ機会がめっきり減ってきました。そんなとき活躍するのが「縄跳び」です。家庭では、部屋が狭かったり騒音のために敬遠されがちですが、保育園には広いスペースがあり、思いっきり縄を回せます。跳べなくなっていていいんです。ただ思いっきり縄を回すだけで跳べるような感覚になるから不思議！跳べる子と一体になって心も体もジャンプしています。

跳べる子はヒーローです。それを見つめる子どもたちの尊敬と羨望の熱いまなざし。部屋中がやる気と意欲で満ちてきます。できることはとても大事、見ていることはもっと大事！必ず小さな芽になり大きく花開く時期が来るから。

来年の今頃、この多くのギャラリーがヒーローになっていることでしょう。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
 利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の おすすめ図書

児童図書

ぴったりのクリスマス

ロザリンド・ピアードショー/絵
 パーディ・ブラック/作 小学館

クリスマスイブ。みんな、大切な人にぴったりのクリスマスプレゼントをさがしています。王様も料理番もアナグマも…。さて、どんなプレゼントが見つかったのでしょうか？

児童図書

くろくまレストランのひみつ

小手鞠るい/作 土田義晴/絵
 金の星社

くろくまさんは森の仲間と仲良くしてたくてレストランを開いたが、お客さんが来ない。森の図書館の館長さんに相談すると、古い本を手渡される。胸がジーンとして、おなががりてくる物語。

一般図書

父のひと粒、太陽のギフト

大門剛明/著 幻冬社

「農業はクリエイティブでカッコいいはずだ」そう訴え続けた天才農業家は、なぜ死んだのか？日本に累積する問題に迫る新社会派ミステリー。

一般図書

ハンサムウーマン新島八重

鈴木由紀子/著 NHK出版

2013年NHK大河ドラマの主人公、新島八重。会津魂と合理精神が融合した、先駆的な生き方を描く、感動の歴史ノンフィクション。

NEWS

ストレスを抱えたまま無理を続けていませんか

そんなとき本との出会いがあなたに力を与えることでしょう。図書室に「こころの健康」コーナーを設けました。

●問合せ先 健康福祉課 ☎86-2233

- 開館時間 午前9時～午後5時
 ●休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
 ●問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



社交ダンス

ダンスサークルウイング

- ◆会長／後藤正道さん(椿)
- ◆指導者／^{まろ}桔川満氏、木下恵子氏、土屋豊次郎氏
- ◆会員／12名
- ◆練習日時／毎週火曜日 19:30~21:30
- ◆会員募集対象

経験・年齢・性別・住所問わず誰でも

●ダンスサークルウイングへの入会・見学などのお問い合わせは、後藤正道会長まで☎72-3408

◆ピーアール

白樺地区公民館を拠点に活動するウイングは、平成20年に設立。毎月、プロダンサーから1回、インストラクターから2回の手ほどきを受けています。競技会では優勝をはじめ、メンバー全員が上位の成績を収めるほどの腕前。町内では、地区文化祭や町芸能発表会でダンスを披露しています。より高い段位を目指して、各自が積極的に昇級テストに挑んでいます。

「ステップを覚えるだけではダンスになりません。続けることで一挙手一投足に深みが増すような気がします。マナーを守り、仲よく、雰囲気良く活動しています」と後藤会長は話します。



後藤さんにとって
社交ダンスとは…

人生をオシャレに生きる
エッセンス

◀後藤正道さん

連載 町長の思つて歩き 42

後藤 幸平

「文明の融合」

お盆にはお寺に行くのが普通である。神社に行く人はあまりいない。お正月には初詣に行く。神社にお参りする。神仏は長く同じ境内で拝まれている歴史がわが国の文化で、初詣には文殊堂などの仏閣にもお参りすることもあつた。お盆とお正月、日本の二大伝統行事でありながら、祭つてあるものが異なるというのも不思議な話だ。実はこの二大行事の間にキリスト教の一大行事が入る。クリスマスである。

日本のこの柔軟な精神文化は外国からはどのように見えるものだろうか。私たちがからすれば生まれたときからこういう習慣で暮らしていて、違和感というものはない。仏壇の上に神棚があつて、その奥の真つ黒なガラガラ戸棚の中に夢のようなクリスマスケーキがあるのを見つけて飛び上がった喜んだのは昨日の事のようだ。

仏壇には戒名と線香、神棚には御札や二股大根、菖蒲などを上げた。そしてお灯明を燈す。クリスマスにはケーキにロウソクをたてるほかは

何かにお祈りをするというわけではないけれど、サンタクロースの存在は軽いものではなかつた。こっそり枕元にプレゼントを置いてくれるのがお袋とわかつていても、お袋はサントに頼まれてやつているのだろうと思ひ続けていた。

お盆やお正月などに欠かせない食べ物つてありますかと聞いてみることにしている。自分としては、お盆には「棒だら煮」、お正月には「からかい煮」などと答えたところである。今では誰もそんなことにこだわりの持っていない。ただ先日、川西町の原田町長に同じことを聞いたたら、「お正月にはひょう干しだ」とのこと。なるほどそうなのだ。夏の雑草を干して正月に食べた。今年こそひょう干しとしていいことがありますようにとの願いを込めての「ひょう干し」。

多様な食と精神の文化史、そこに培われた柔軟で逞しい心、それは私たちのかけがえのない財産であり、文明融合の証である。

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。



- 今月のテーマ
- ・ 幼児期の運動
 - ・ 認知症予防

大切な幼児期の遊び

幼児期に体を動かして活発に活動することは、心身の成長発達に欠かせません。

体を使った遊びの効果は多数ありますが、一番の効果は、脳の発達を促すことです。脳細胞をつなぐ神経回路は2〜3歳の時期に著しく発達し、3〜4歳の時期に神経回路のネットワークがどんどん広がっていきます。こうした脳の発達のためには、体からの刺激がとて大切なのです。

また、心の成長にも作用します。たとえば、うまくいった時の「自分ができる」といった有能感、「危ない」と感じる危険を予測する力、「ここで頑張らなければ」という忍耐などが豊かな心を育むといわれています。

さらに、音楽性、空間認知能力、理論立てて物事を考えたり、先のこと予測したりする能力も育まれます。

幼児期における運動の意義

- ・ 体力・運動能力の向上
- ・ 丈夫な体になる
- ・ 意欲的な心をはぐくむ
- ・ 協調性やコミュニケーション能力が育つ

・ 認知的能力の発達に効果がある
「幼児期運動指針ガイドブック」より

組み合わせる遊び

幼児期は運動機能が急速に発達し、多様な動きを身に付ける時期です。いろいろな遊びをすることが大切です。

文科省の「幼児期運動指針ガイドブック」では、さまざまな遊びを合計して1日60分としています。同じ動きの繰り返しにならないように、左記を参考にさまざまな動きを取り入れて楽しく遊ばししょう。家庭での手伝いなども運動機能を身につけることに役立ちます。

年齢	経験させたい動き	具体的な動き	遊びの種類
3〜4歳	・ 体のバランスをつくる動き ・ 体を移動する動き	起きる、回る、渡る、ぶら下がる、走る、跳ぶ、登る、はうなど	滑り台、ブランコ、マット、鉄棒、平均台
4〜5歳	・ 用具を操作する動き	持つ、運ぶ、投げる、蹴る、押す、引くなど	縄跳び、ボール遊び
5〜6歳	・ 基本的な動きの組み合わせができる動き	走って跳ぶ、ボールをつきながら走るなど	用具を使った複雑な動きを含む遊び

「以前と違う」は大事なサイン

認知症の初期症状は日常のちょっとした変化から表れることが多いものです。

気になる症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。早期発見して正しく治療すれば症状が改善したり、場合によっては治ることもあります。

◆ 認知症にみられる症状

- ・ 同じ話を無意識に繰り返す
- ・ 料理や外出の準備、旅行計画など物事の段取りが立てられない
- ・ 着替えの仕方がわからなくなる
- ・ よく知っている人の名前が出てこなくなる

◆ 予防の2つのポイント

- ◆ 「健康なからだ」、「脳を使う生活」
散歩などで適度に体を動かす
- ・ 話し相手を持つ
- ・ 新聞や本を読む、趣味（旅行、園芸など）に打ち込む

◆ 発症を遅らせる脳トレ

- ・ 料理―必要な材料や調理手順を考えることが脳のトレーニングになります
- ・ 日記―食べた物、買った物を書き留めましょう。記憶・回想機能がアップします

飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

町臨時職員募集および 雇用予定者登録のご案内

◆職種

■介護老人保健施設

介護員／30名

■診療所

看護師／3名

■保育園・幼稚園

保育士／17名 調理師／2名

■学校給食共同調理場ほか

調理師／4名 栄養士／2名

◆受付期間

12月17日(月)～平成25年1月25日(金)

※郵送の場合は、1月25日必着のこと

◆受付時間／8:30～17:00

※土・日・祝祭日・年末年始を除く

◆応募資格／性別・住所は問いませんが、行政事務などが適切にできる方です。秘密保持や公平公正な事務執行などは、職員と同様です

※次の職種は資格が必要です

■看護師／看護師または准看護師免許

■介護員／介護福祉士またはホームヘルパー2級以上の免許

■保育士／保育士および幼稚園教諭免許

■調理師／調理師免許

■栄養士／栄養士免許

◆決定方法／1月下旬に実施する面接および書類選考の上、決定します

◆申込み用紙の請求／申込み用紙は、役場総務企画課総務情報室で直接交付します。郵便で請求する場合は、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角型2号)を必ず同封し、請求ください

※申込書は、町ホームページからも入手することができます

◆申込方法

申込書に必要事項を記入し、資格免許の写しと履歴書を同封の上、右記の申込先まで提出ください

◆雇用の通知

町の臨時職員台帳に登録し、原則平成25年4月から1年間以内の雇用とします。なお、年度内に、緊急に必要とする臨時職員も台帳記載者から雇用します。雇用通知は、雇用する者へ事前に通知します

◆勤務条件

○賃金／職種や本人の前歴などにより決定します。

■看護師／月額8,600～11,300円

■介護員／月額153,750～213,200円

■保育士／月額143,500円

■栄養士／月額7,000円

■調理師／月額5,800～6,000円

○休日／土曜日・日曜日・祝祭日

○その他／社会保険、雇用保険加入

◆申込・問合せ先

〒999-0696 飯豊町椿2888

役場総務企画課総務情報室

☎72-2111内線223

グルメ

「商品開発ワークショップ」開催

町の食材を題材として、特徴を知り、レシピ検討と試作を行い、商品化を想定した“売れる”商品づくりを学びます。

◆対象／地元食材の特徴を生かした料理に興味があり、その特徴を生かした商品を開発・販売したい方

※全回に参加できる方

◆講師／小野料理教室 小野紀代子氏

◆定員／16名程度

◆参加料／無料

◆会場／中部地区公民館調理実習室

◆内容概要

○第1回／1月17日(木)18:30～20:30
食材の特徴を学ぶ

○第2回／2月13日(水)18:30～20:30

前回のレクチャーを生かした調理実習

○第3回／3月10日(日)14:00～18:00

前2回の経験を踏まえ、参加者考案レシピによる調理実習と商品化検討

◆申込締切／1月9日(水)

◆申込・問合せ先／飯豊町地域雇用創造推進協議会・吉田☎87-0973

土・日・祝日の 役場庁舎出入り口の変更

役場庁舎の土・日・祝日の出入り口が変更になりました。これまでは、庁舎裏側玄関の北側でしたが、南側に変更になりました。

◆問合せ先／役場総務企画課総務情報室☎72-2111内線225

めざまみの里書初め大会 参加者募集

大人から子どもまで、また町外の方も、だれでも参加できます。書初めで志を新たにして新年を迎えませんか。

◆日時／1月2日(水)10:00～

◆場所／めざまみの里観光物産館

◆持ち物／書道道具・新聞紙・おしぼり

※道具のない方は、相談ください。

◆参加料／300円

◆申込方法

○小中学生は各学校へ申し込み

○一般の方は下記まで電話で申し込み

◆申込締切／12月20日(木)

◆申込・問合せ先

めざまみの里観光物産館☎86-3939

こせきのほど
戸籍の窓

(11月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩生 齋 藤 優	羽ちゃん	(学 美 友 幸子)
黒沢 井 上 真	緒ちゃん	(清 好)
添川 遠 藤 祐	歩くん	(洗 太 友 里 恵)
添川 船 山 蓮	音くん	(源 浩 恵)

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
椿 下椿 高 石 う めさん		83
萩生 いで 船 山 正 行さん		54
添川 ひめさゆり 鈴 木 は るさん		91
萩生 町上 小 松 ナ カさん		96
添川 上代 須 貝 よ しさん		91
添川 ひめさゆり 伊 藤 ヨシ子さん		83
萩生 中ノ舗 手 塚 次 男さん		86
中 酒町 長 岡 實 さん		84
萩生 中ノ舗 清 野 ツルエさん		92
添川 ひめさゆり 齊 藤 都 さん		92

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

11月分 () 内は対前月比				
世帯数	2,407 (-1)	転入	8	
人	男	3,888 (-4)	転出	13
	女	4,136 (-7)	出生	4
口	計	8,024 (-11)	死亡	10

◇ついに雪が降りました。雪が降る様子を表した言葉に「しんしん(と降る)」があります。静かに降っている様子を表現した言葉です。雪国に住む皆さんなら、「静か」以外に、降る雪の量や、風の様子、家々の散居・込み具合などまでも浮かんでくる言葉だと思えます。この情景をしんしん以外の言葉で表すと、文字数は何倍にもなります。スペースが限られた広報紙づくりでは、短くても伝わる表現が大事。この表現探しに難しい。もっと沢山探し出して身につけなければしんしんと降る雪を見ながら思いました。(かつみ)

手ノ子スキー場
22日オープン

12月22日に手ノ子スキー場がオープンします。今年も安全な運営を第一に、町民の皆さんに親しまれるスキー場を目指します。どうぞご家族でスキーをお楽しみください。

◆営業期間/12月22日(土)～3月3日(日)

◆営業時間

○昼間/土・日曜日・祝日

9:00～16:30

平日は、学校スキー授業日のみ営業

○ナイター/火・木・金・土曜日

17:30～21:00

◆リフト料金

○シュレップリフト (単位:円)			
券種	一般	中学生以下	備考
回数券	1,100	600	昼夜共通
1日券	2,100	1,200	
ナイター券	1,200	700	
シーズン券	16,000	8,000	ナイター可

※団体割引あり

○簡易リフト (単位:円)

券種	一般	中学生以下
1日券	500	300

◆イベント

○スキー場開き 12月22日(土)

回数券半額販売など

○スキー子どもの日

1月20日(日)、2月17日(日)

中学生以下、日中リフト無料

○スキー場感謝デー 1月27日(日)

豚汁振る舞いとお楽しみ抽選会

○町民スキー大会 2月17日(日)

小学生スキー大会と同時開催

◆問合せ先

手ノ子スキー場 ☎75-2811

役場教育文化課生涯学習振興室

☎72-2111内線160、162

置賜広域行政事務組合
指名競争入札参加登録申請

平成25・26年度に行う①建設工事(定期申請)、②測量・建設コンサルタント業務等(定期申請)および、平成24・25年度に行う③物品納入・役務提供(追加申請)の指名競争入札参加登録の申請を受け付けます。

◆受付期間

○①と②は平成25年2月1日(金)～2月20日(木)まで

○③は受付中。平成25年2月28日(木)まで

※郵送の場合は当日消印有効

◆申請方法/必要書類などの詳細は

ホームページをご覧ください

<http://www.okikou.or.jp/>

◆申請・問合せ先/〒992-0012

米沢市金池三丁目1番55号

置賜広域行政事務組合事務局施設課

施設係 ☎0238-23-3246

心の古里いいで
フォトコンテスト作品募集

◆募集テーマ/古里を感じさせる飯豊

の風景および自然と四季・人・花・樹木

◆撮影期間/平成24年4月1日～平成

25年2月28日まで

◆審査員/佐藤秀明氏(写真家)

◆応募規定/・作品は未発表のもの

・作品は原則として返却しません

・デジタルカメラの場合はカラーのみ

・画像合成処理した作品は応募不可

・受賞作品はフィルム、ネガまたは、

データ提供を求めます

・受賞作品は町観光協会などが商品

PRに使用する場合があります

※詳細は下記に問い合わせください

◆賞/最優秀1点、優秀2点、特別5

点、入選10点

◆応募締切/平成25年2月28日(木)

◆応募規格/プリント四切りサイズま

たはワイドサイズ

◆問合せ先/町観光協会 ☎86-2411

緑のふるさと協力隊通信の休載

今年5月から、広報本号に掲載していましたが「緑のふるさと協力隊通信」は、都合により休載となります。

町の人事行政の運営などの状況

◆部門別職員数（各年度4月1日現在）

区分		23年度	24年度	比較
一般行政部門	議会	2	2	0
	総務企画	22	23	1
	税務	8	8	0
	民生	25	24	△1
	衛生	5	5	0
	農林	13	12	△1
	商工	4	3	△1
特別行政部門	土木	7	7	0
	教育	24	22	△2
公営企業等会計	病院	1	1	0
	水道	3	3	0
	下水道	2	3	1
	国民健康保険	5	5	0
	介護保険	5	5	0
	後期高齢	1	1	0
	老人保健施設	7	7	0
合計		134	131	△3

※職員数には、教育長が含まれています。

◆人件費の状況（平成23年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 平成24年3月31日	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A) 22年度	
8,027人	5,466.354千円	992.240千円	18.2%	16.9%

※人件費には、特別職に支給される給料及び報酬を含みます。

◆職員給与費の状況（一般会計当初予算・各年度1月1日現在）

区分	職員数 (A)	給与費 単位：千円			合計(B)	一人当り給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
23年度	116	458,815	66,270	166,464	691,549	5,962
24年度	112	439,038	63,029	159,161	661,228	5,904

※職員手当には、退職手当負担金を含みません。

◆職員の平均給料月額及び平均年齢（平成24年4月1日）

区分	平成24年度	
	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	324,700円	42.9歳
技能労務職	336,600円	51.0歳

◆特別職の給与・報酬月額（平成24年4月1日）

区分	現行	条例	期末手当	
			6月	12月
給料	町長 688,500円 (▲15%)	810,000円	6月 1.40月分	12月 1.55月分
	副町長	610,000円	6月 1.40月分	12月 1.55月分
	教育長 513,000円 (▲5%)	540,000円	合計 2.95月分	
報酬	議長 310,000円	310,000円	6月 1.40月分	
	副議長 250,000円	250,000円	12月 1.55月分	
	議員 230,000円	230,000円	合計 2.95月分	

◆職員手当の状況

項目	単位：月分				加算割合		
	6月	12月	計	6級	5～4級	3級	
期末手当勤勉手当	1.225	1.375	2.60	15%	10%	5%	
住居手当	借家（家賃月額12,000円以上）			限度額	27,000円		
扶養手当	配偶者			月額	13,000円		
	配偶者以外の扶養親族1人につき			月額	6,500円		
	配偶者のない職員の扶養親族1人まで			月額	11,000円		
	15～22歳の扶養親族の子がいる場合1人につき			月額	5,000円加算		
通勤手当	交通機関等利用			限度額	37,200円		
	自動車等使用			限度額	55,000円		
退職手当 単位：月分	勤続20年		勤続25年	勤続30年	最高限度額		
	自己都合		23.50	33.50	41.50	59.28	
	定年・勸奨		30.55	41.34	50.70	59.28	
	50歳以上の定年前早期退職者には、1年につき2%加算されます。						

町職員の任免、勤務時間や勤務条件などの情報を正しく知っていただくために、町の人事行政を毎年公表しています。

今回は、平成23年度の状況です（一部の年度の状況を含む）。

詳細は町ホームページで公開しています（<http://www.town.iide.yamagata.jp/>）。

◆職員採用試験の状況（平成23年度実施）

区分	受験者数			採用者数 計
	男	女	計	
一般行政職	11	4	15	3

◆退職者数（平成23年度中の退職者）

区分	定年	勸奨	普通	計
一般行政職	0	1	1	2
技能労務職	3	0	0	3
計	3	1	1	5

◆再任用職員は、平成23年度はいませんでした。

◆職員の初任給の状況（平成24年4月1日）

区分	初任給	※大学卒の初任給は、初級試験採用の適用となります。
一般行政職	大学卒 161,600円 高校卒 140,100円	
技能労務職	高校卒 138,700円	

◆ラスパイレス指数（行政職給料表適用職員を対象）

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
95.5	96.3	97.3	97.4	96.8

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。単位：%

◆勤務時間の状況

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			
	始業	終業	休憩時間	週休日
38時間45分	8:30	17:15	12:00~13:00	土・日曜日

※本庁以外の幼稚・保育園などでは、異なる場合があります。

◆年次有給休暇の取得状況

総付与日数	総取得日数 (a)	対象職員数 (b)	平均取得日数 (a)/(b)
5,124日	834日	133人	6.2日

◆休暇の種類

年次有給休暇、病気休暇（有給）、特別休暇（有給）、介護休暇（無休）、組合休暇（無休）があります。

◆職員の分限及び懲戒処分は、平成23年度はありませんでした。

◆職員のサービスの状況

職員は全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、全力で職務遂行しなければなりません。職務の遂行にあたって職員が守るべき義務には、職務命令等に従う義務、信用失墜行為の禁止、守秘義務、職務専念義務、政治的行為の制限、争議行為等の禁止、営利企業等の従事制限があります。

◆研修の実施状況

区分	実施機関	内容	延受講者数
町独自研修	飯豊町	新規採用職員研修（事前研修を含む）	15人
		メンタルヘルス研修	95人
		管理監督者研修（室長）	15人
		管理監督者研修（主査）	17人
派遣研修	山形県市町村職員研修協議会	階層別研修（課長級・係長級・上級職員研修など）	19人
		専門研修（税務担当・財務担当・法制執務担当職員研修など）	21人
	置賜市町職員研修協議会	新規採用職員研修	4人
		一般研修（法制執務研修）	4人
	東北自治研修所	人事担当研修	3人
	市町村職員中央研修所	東北六県ハラスメント防止指導者研修	1人
町村職員等のための自治体経営特別セミナー I 基礎コース		1人	

◆勤務評定の状況

昇給については、毎年1月1日に同日前1年間におけるその者の勤務成績に応じて行う。昇給の有無及び昇給させる場合の号級数は、前1年間の全部を良好な成績で勤務した職員の昇給の号級数を4号給とすることを標準として、その者の職務について監督する地位にある者の証明を得て行うことと給与条例等に規定されています。最終的には当該証明を基に人事担当課長の勤務状況の把握のもと任命権者が判断し、職員の昇給を行っています。昇任や昇格については、級別資格基準表などに基づき、任命権者が勤務成績を判断し行っています。

◆健康診断等の実施状況

区分	内容	対象者
職員健康診断	基本健診	全職員
	大腸がん検診	全職員
	肝炎ウイルス検診	35歳以上の希望者
	肺がん検診	40歳以上の希望者
	胃検診	希望者
職員健康診断 事後指導	乳がん検診	希望者
	子宮がん検診	希望者
	健診結果に基づき、 保健師による指導を実施	全職員

◆共済組合及び互助会

職員及びその家族の生活の安定と福祉の向上を図るため、山形県市町村職員共済組合や山形県市町村職員互助会の制度を利用しています。

区分	内容
短期給付	職員とその家族の病気、怪我、死亡及び災害等に対する給付を行います。
長期給付	職員の退職・障がい又は死亡に対して年金又は一時金の給付を行います。
福祉事業	職員とその家族の病気予防、貯金の積立て、住宅資金の貸付を行います。

◆公務災害補償は、平成23年度はありませんでした。

◆県人事委員会から、公平委員会への委託業務（勤務条件に関する措置の要求の状況と不利益処分に関する不服申し立ての状況）は、平成23年度は該当ありませんでした。

◆飯豊町役場職員互助会

互助会名称	飯豊町役場職員体育文化会
会員数	138人
補助金決算額	152千円
事業内容	各種クラブの設置など

文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真／社地2,840㎡に広がるうっそうとした社叢。杉の大木と樹種の多さが目を引く

Treasures in Iide Town

27

selection

中若宮八幡神社社叢

昭和61年度町天然記念物指定

Interview

守り続ける人たち



氏子副総代長

船山吉一さん
(中)

社叢の落ち葉が作り出す温かい人の輪

中若宮八幡神社を囲むように、針葉樹や広葉樹などが混在した社叢(林)があります。強風の翌日は、落ち葉が境内一面を覆うほどですが、それを掃き集めて取って置き、初詣客が暖を取るための焚き物にしています。地域の方々が焚き火に当たりながら新年のあいさつを交わす姿を見ると、当神社を介した地域の繋がりを実感します。

当神社の春祭りと秋祭りには獅子舞があります。昭和30年代に一度途絶えたこともありましたが、時代に合わせて行うことで再興し、今日まで続いています。

これからも、若い方々には祭事や行事に積極的にかかわってもらい、地域の歴史と交流の場を引き継いでいただきたいと思います。

解説

中若宮八幡神社社叢

創建は明らかではないが、元禄年中(1688~1704)、国主上杉民部頭(吉憲)御巡国のおり参拝され、以後住民を挙げて信仰を深めた。祭神は応神・仁徳天皇。享和3年(1719)4月に社殿破損のため再建され、昭和7年に拝殿が新築された。

境内一円にはエゾノミ、ケンボナシや杉などの樹木がうっそうと生い茂り、林床にはユキツバキ・ヒメアオキが群生している。

昭和62年3月、町の天然記念物に指定された。